

インフォメーション

2020年度 事業支援委員会ボランティア大募集

あなたも支援会ボランティアになりませんか

横浜いのちの電話の電話相談活動を資金面で支える、支援会ボランティアには、手作りの製作に励むバザー部会と、映画やコンサートの企画立案をする催し物部会があります。両部会とも、仲間と楽しみながら自分のできごとで社会貢献できるのが喜びになっています。どうぞご参加ください。

応募資格：バザー部会・催し物部会とも特に設けておりません。

興味のある方は、事業支援会事務担当までお問合せ下さい。

社会福祉法人 横浜いのちの電話 問合せ先/事務局 045-333-6163

バザー部会 只今手作り品製作中



催し物部会 イベントの企画会議



寄付のお願い

眠らぬダイヤルとして24時間体制で電話相談を続けていくためには、運営資金が必要です。維持会員または賛助会員になって資金面でご協力、ご支援下さい。

●維持会員

(毎年一定額を援助して下さい)

個人 年間1口
3,000円 5,000円 10,000円
法人・団体 年間1口
10,000円 (何口でも可)

●賛助会員

(随時、任意の額を援助して下さい)

●遺贈について

ご遺産や相続された遺産を横浜いのちの電話のために寄附したいとお申し出が増えてきています。感謝です。手続きなどのご相談は事務局までご連絡ください。なお、ご寄付に対しては相続税法上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。

編集後記

この号が発行される頃は、新型コロナの影響が徐々に明らかになり、長期戦になっているかもしれません。疲れたり不安な時こそ、上手に「心と体をメンテナンス」して、自分にご褒美? 爆睡? リラックス? したいものです。自分を労わり、少し力も湧いてきて「今、自分が出来ること」を選び、「出来ることに特化すると、次の景色が見える」と恩師が話していました。(0)

※法人は損金算入、個人は寄付金控除があり、税法上の優遇措置の対象となります。
※会員の方には広報誌、事業報告、公開講座、映画会等のお知らせをお送りします。維持会員の方には5年ごとに映画会への無料招待があります。

●振込先

郵便局郵便振替 00240-3-15191
社会福祉法人 横浜いのちの電話

※詳しくは横浜いのちの電話事務局までお問い合わせ下さい。
☎ 045-333-6163 (月～金 9時～17時)
メール: yind6163@gmail.com

毎月10日はフリーダイヤル

なやみ ころも
0120-783-556

毎月10日 8:00～翌日8:00

24時間・無料です

あなたがつらいとき、近くにいます。ひとりで悩まないで、こころの苦しみをお話し下さい。

自殺予防 いのちの電話です

神奈川県共同募金会からの配分金



本広報誌は、共同募金配分金により製作しました。

横浜いのちの電話 お知らせ

秋の催し

社会福祉法人 横浜いのちの電話 秋の催し
40周年記念コンサート

石田組 オールバロック

弦楽アンサンブル PROGRAM ヴィヴァルディ「四季」ほか



ヴァイオリニスト石田泰尚の呼びかけにより2014年に結成された弦楽合奏団。プログラムによって様々な編成で演奏をする。メンバーは男性ばかりで「石田組長」が、首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに「組員」を召集する。2017年デビューアルバム「THE石田組」はレコード芸術誌上で特選盤の評価を得る。2018年にはNHK-FM「ベストオブクラシック」及びNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」で紹介されその熱いステージの模様が大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「らららクラシック」で特集が組まれた。

チケット発売開始 6月1日

●日時 2020年9月30日(水)
18:30開演 (17:45開場)

●会場 横浜関内ホール(大)
前売券 3,500円 当日券 4,000円
全席自由 未就学児入場不可

●お問い合わせ

横浜いのちの電話事務局
TEL. 045-333-6163
FAX. 045-332-5683

ひとりぼっちで悩まずに…

だれかと話したいとき こころ寂しいとき

横浜いのちの電話相談

045-335-4343 (24時間体制)

外国語電話相談

●ポルトガル語
0120-66-2488 045-336-2488

●スペイン語
0120-66-2477 045-336-2477

相談時間 水 10時～21時
金 19時～21時
土 12時～21時

ひとりで悩まないで

横浜いのちの電話

広報99号
2020.5.10



社会福祉法人 横浜いのちの電話

事務局 〒240-8691 日本郵便保土ヶ谷支店私書箱32号 TEL. 045-333-6163

発行人 松橋秀之 横浜いのちの電話広報担当 (大貫・那須・堀木)

制作 HK Communication Design +Y A

新型コロナウイルス対策のため電話相談を適宜閉鎖します

心と体のメンテナンス

私ごとで恐縮ですが、自分が50代半ばの時に母を数年後父を見送りました。仕事をやりくりして介護やら葬儀、その後の相続問題などで翻弄されました。現在60代から70代の峠に差し掛かっておりますが妻は妻自身の母の介護に奮闘中です

息子、娘は30代半ばを過ぎて忙しく働いています。とりわけ娘は出産の準備から我が家に戻り、子育ての支援を当てにしています。孫は可愛いですが、丸ごと預かるほどの体力はありません。それでも、保育園の送迎やら孫の世話はなかなか大変な仕事量です

皆それぞれの生活のため、スケジュールを調整して頑張っています。なんとかうまく意志が通っている間はいいのですが、皆、忙しくなってコミュニケーションが雑になると、怒ったり、泣き出したりといったストレスの大噴火が生じます

毎日様々なことが起こりますがそれぞれの年齢にふさわしく自分自身の変化を見つめながら「心と体のメンテナンス」を心がける必要があるように思います。忙しい合間にボランティア活動をこなしている相談員の皆さんに、伺ってみました

http://www.yind.jp/

